

議会だより

2026.5

No.85



Contents

新年度予算	2
代表質問	6
一般質問	11
22人に聞きました	15
議案の審議結果	16



賛成討論

大橋 保治 議員

本予算は、人口構造の変化や経済動向の不透明感が増す中であっても、10年、20年先を見据えた持続可能なまちづくりの礎を築くものであり、過去最大となる556億円が計上されました。物価高への対応や社会保障費の上昇といった避けては通れない課題に対し、本市の福祉、医療、教育を柱とする重点施策を推進し、未来への投資を着実に実施する内容となっています。

特に令和8年度は第3次総合計画の初年度に当たり、少子高齢化や人口減少対策、地域経済の活性化など、喫緊の課題に正面から向き合う予算編成であると評価します。

財政運営の面では、市税収入が過去最大となる187億円を見込む一方で、財政調整基金などからの繰入を前年度比6億円減の28億円に抑え、市債の新規借入も4.6億円減の2.8億円とするなど、健全な財政運営への強い転換が図られています。これにより、未来への投資と持続可能な財政基盤の両立が果たされています。

具体的な事業に目を向けると、総務費では鈴鹿の森の

文化発信や木地師文化の継承、地域公共交通の機能強化が図られています。民生費・衛生費においては、高校3年生までの医療費助成の充実や「見守りおむつ宅配便」の実施など、子育て環境の整備が手厚く、乳がん検診の充実や低所得妊婦への支援など、市民の命と健康を守る姿勢が鮮明です。農林水産業費では地域おこし協力隊による新規就農支援や特産品の魅力発信が盛り込まれ、商工費では八日市駅周辺の整備や創業支援など、中心市街地のにぎわい創出と企業立地促進に重点が置かれています。

さらに、土木費では通学路の安全対策やスマートインターチェンジの設置促進、教育費では不登校児童生徒への校内教育支援センター運営や学校給食費の保護者負担軽減など、市民の安全と次世代を担う子どもたちへの支援がバランスよく配置されています。文化面でも、東近江大風の飛揚再開支援など地域資源の活用が図られており、まさに「強く豊かで、よりやさしい東近江市」の創生に向けた予算であると確信します。

限りある財源を最大限に活用し、施策の推進と財政健全化を両立させた本予算は、本市のさらなる発展と市民福祉の向上に寄与するものです。今、必要とする施策を積極的に推し進め、本市の魅力を高めることが活力ある未来につながると考え、本案に賛成します。

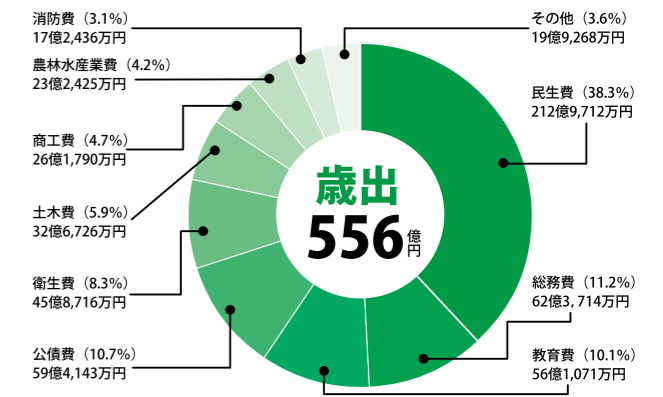
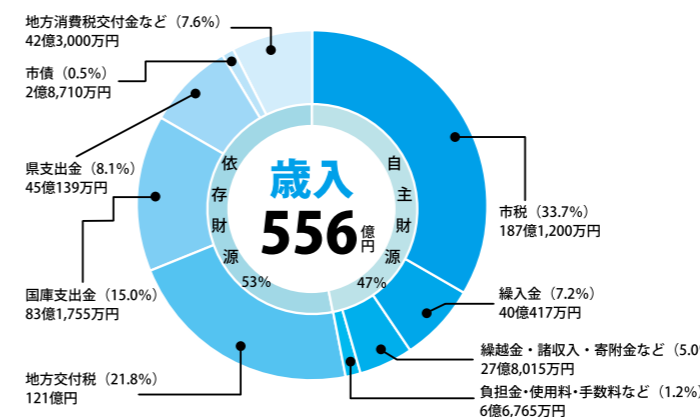


令和8年度一般会計当初予算

過去最高の556億円

令和8年度の一般会計予算は、「長期化する物価高騰対策や扶助費、物件費の上昇など、極めて厳しい財政状況が想定される中、これまでの施策を滞ることなく推し進めるため、未来への投資と持続可能な財政基盤の構築の両立を図りながら、市民が安全で質の高い暮らしを享受できる、強く豊かで、そしてやさしい東近江市の創生」に向けて、一般会計当初予算としては過去最大となる556億円の予算が編成されました。当議会としても各会派による代表質問や予算決算常任委員会・各常任委員会での質疑を経て、議会最終日に賛成多数により可決いたしました。

今号では、一般会計予算に対する討論および予算決算常任委員会での審査内容の一部をご紹介します。



反対討論

中村 和広 議員

本予算案の近江鉄道八日市駅東西連絡通路設計管理費委託料9,476万5千円については、1日当たりの利用者数は約420人とし、延命公園へのアクセス向上が見込まれるなどの説明がありました。

現在計画されている延命公園の再整備においては駐車場も整備される予定となっており、本事業の必要性は非常に少ないと考えます。

地方自治法第1条の2では、地方公共団体は住民の福祉の増進を図ることを基本としており、住民一人一人の生活保障が優先されるべきです。

現在、年2校の割合で進んでいる小中学校体育館への空調設備導入を推進し、国の補助金が活用できる令和15年度までの完了を目指すべきです。体育館空調整備は児童生徒の学習環境の改善に加え、南海トラフ地震などの大規模災害時における避難所機能の向上にも資する重要な施策です。

また、住まいる事業補助金などの定住促進は、実績として住宅リフォーム事業においても一定の定住効果が確認されていますが、さらなる拡充が必要です。子どもの学びや防災の備えを万全にし、定住策を手厚くにぎわいを増やしていくことこそ、現在の本市が進めていくべき施策と考え、反対します。



反対討論

田郷 正 議員

本予算は、企業優遇・市民が望んでいない公共事業優先であり、市民の暮らし・福祉・教育優先となっていません。

18歳までの医療費完全無償化も、0歳児から2歳児までの保育料無償化も受益者負担が原則と切り捨て、小中学校体育館へのエアコン設置は、財源などを確保しつつ計画的に全校に設置完了を目指すとしながら、小学校へのエアコン設置は全校未定という状況です。

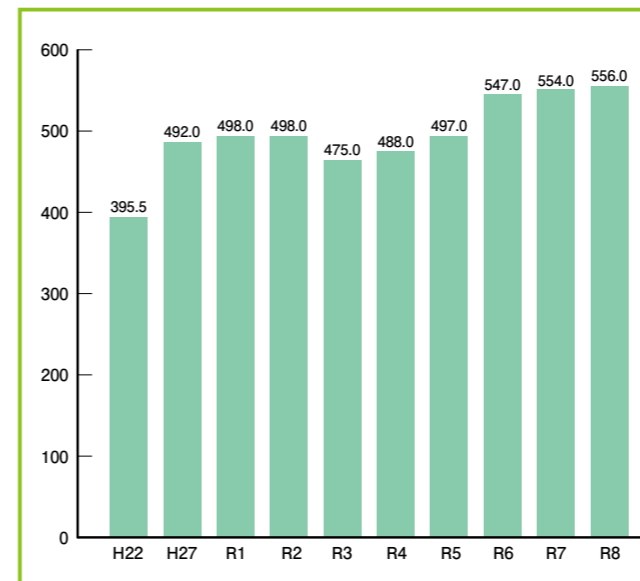
保育・幼児施設や中学校の給食無償化では、食材費は保護者負担が原則で、無償化実施は考えていないと、子育て世代が安心して子育てができるまちとは言い難い。

森の文化推進条例に基づき、既存施設である木地師やまの子の家の改修・解体などに向けた調査設計(1,950万円)など市民が望んでいない公共事業推進の姿勢です。

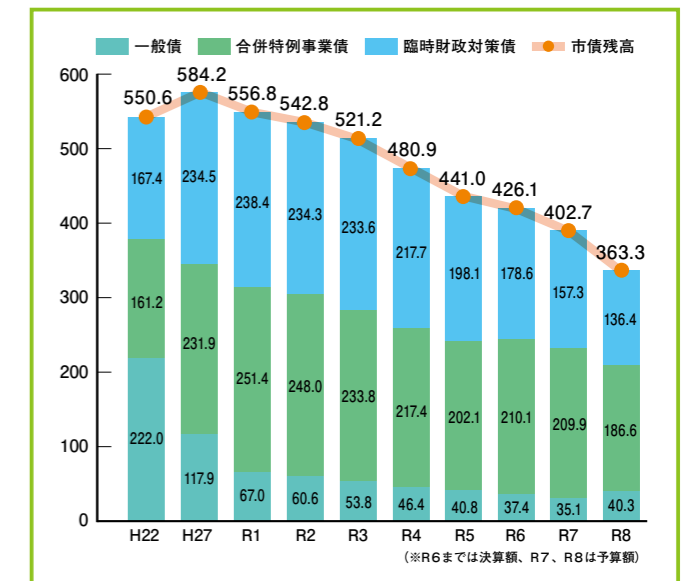
中心市街地のにぎわい創出のためには、核となる中心地が必要であると、近江鉄道八日市駅東西連絡通路整備(概算事業費約10億円)の詳細設計などを予算化。一体どれだけの市民の皆さんが中心市街地だけが良くなれば良いと思っているのか、中心部だけへの集中した投資はやめるべきです。

市民の暮らし・福祉・教育最優先の予算への切り替えが必要と考え、反対します。

一般会計 当初予算規模の推移 (単位: 億円)



一般会計 市債残高の推移 (単位: 億円)



予算決算常任委員会

Q 合併特例事業債の発行総額と年度ごとの償還の見込みは。
A 令和6年度末時点での発行総額は、537億8330万円です。元金の償還が進んでいるため、毎年度償還額は減少していくと見込んでいます。

Q 市債の交付税措置について、措置率は合併特例事業債70%、臨時財政対策債100%だが、その他の起債を含め市債の残高約420億円のうち、実質市が負担する借金はどれほどになるのか。
A 措置率の高い合併特例事業債や臨時財政対策債が市債残高の多くを占めており、令和6年度末残高では両市債あわせて約325億円が後年度に交付税で措置されるのが想定されます。

Q 実質的な借金額と基金は全体で273億円ほどなので、市の財政はかなり健全であると考えが。
A 健全化を図る指標はいくつかありますが、本市はそれぞれの指標で基準を満たしており、健全財政だと判断をしています。必要な事業はしっかり進めていき、財政の健全化と施策の推進、この両輪のバランスを図っていきます。

Q 本市の基準財政需要額は300億円程度だが、会計の考え方で行政コストを計算すると実際の行政経費ほどの程度か。
A 行政コストは、令和5年度決算では、一般会計で443億円程度となっています。

Q 本市の基金残高は財政調整基金52億円、減債基金60億円だが、それぞれの程度を確保する必要があるのか。
A 財政調整基金は、経済変動による市税減や予期しない収入減、災害発生対応などの不測の支出に対応するために蓄えておくものです。

Q 財政調整基金の積立額の明確なルールはありませんが、本市では標準財政規模321億円の20%を目安に60億円程度を確保する必要がありますと考えています。また、減債基金については、一般財源が不足して当該年度の市債の元利償還に支障がある場合の財源としています。現状は市債の繰上償還は行っていないので、積立と繰入のバランスを見極めながら柔軟に対応しています。こちらで積立金の明確なルールはありませんが、単年度の公債費の規模に相当する額を一括償還できる約60億円を目安

としています。
Q 特定目的基金のように、事業に使える基金は、当初予算で取り崩し、事業に使う考えはどうか。
A この20年間は、財政的に有利な合併特例事業債があったため、基金の繰入よりも合併特例事業債の活用を優先してきました。その発行が令和7年度で終わるため、今後の事業推進に当たっては、必要に応じて基金の繰入を検討していきたいと考えています。

Q 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の約10億8千万円の使途は。
A 三方よし商品券の発行、中学校や認定こども園などの給食費高騰分の支援、省エネ家電への買い替え購入費に対する支援、中小企業支援として商工会の物産展出展への補助で10億4763万円を計上しています。

残りの約4千万円については国や県の物価高対策を見極めながら今後検討します。



総務常任委員会分科会

Q 防犯活動推進事業で、街路灯等借上料の予算額が昨年度と同額であるが、防犯灯の数は5719灯で変わらないか。また、防犯灯の設置予定はあるのか。
A 防犯灯の数は変わりありません。自治会からの要望はなく、当初予算には計上していません。

Q 非常備消防事業の消防団員数が昨年度より21人も減っているがどうか。
A 団員数は減っていますが、与えられた役割は全うしており、機能が低下しているとは思っていません。引き続き増員に向けて努力していきます。

Q 消防団の消防車は20年で買い替えるということであったが、車庫にも整備の基準はあるのか。
A 整備の基準は設けていませんが、劣化も含めた整備計画はあります。八日市8地区のほとんどの車庫には話所がなく、コミュニケーションに頼っているため、そちらを優先的に整備していく計画です。

Q 地球温暖化対策・再生可能エネルギー促進事業で、省エネ家電購入促進補助金の令和7年度実績と令和8年度の交付要件は。
A 令和7年度は、11月から補助を開始したこともあり、予算額800万円

に対し348万円の補助金を交付しました。2027年末の蛍光灯の生産および輸出入の終了に伴い、LED照明器具などへの買い替えも補助対象とし、購入金額の2分の1の額に対し2万円を上限として補助を行います。

Q 森の文化推進事業について、今後の維持管理や集客の問題などをしっかり考えているのか。
A 既存施設である木地師やまの子の家の有効活用が前提です。これまでも鈴鹿の森魅力発見シリーズと称してさまざまなイベントを開催してきましたが、施設が昭和59年の建築で、トイレなどの不備もあるため、まずは現在のニーズに合うような改修が必要です。調査・研究などさまざまな展開に対応できるように改修し、エリア全体の活性化に繋がっていきます。

Q 古民家群も含めたエリア全体のイメージはどうか。
A 木地師やまの子の家は改修を行い、旧事務棟・旧講堂・食堂・倉庫は解体する方向で検討しています。古民家群については市の所有ではありませんが、敷地としては一帯であることから、何らかの形で活用したいと思っています。



産業建設常任委員会分科会

Q 市民の住宅リフォームや定住・移住される方を対象にした住まいの事業補助金の予算総額が、令和7年度の4500万円から1500万円減少している。住宅リフォーム補助金は、毎年多数の申し込みがあり、早期に受け付けが終了しているため、補正予算を組んでも予算確保をすべきと考えるか。
A 限りある財源なので、市民定住住宅リフォーム事業の補助上限を10万円にしました。令和7年度の実績は118件ですが、上限の10万円以内の方もおられるので、当初予算でも120件以上に対応できると考えています。

Q 近江鉄道八日市駅東西連絡通路整備に関連して、八日市駅西側にある近江鉄道所有地の活用について、具体的な計画はあるか。
A 連絡通路整備計画を受け、近江鉄道も中心市街地の活性化を図りたいの思いをお持ちですが、具体的な計画は伺っていません。今後も意見交換などを通じ連携を図っていきます。

Q 令和8年度、農業分野において地域おこし協力隊員2名の活動費が計上されているが、活動する場所と栽培品目は。また、受け入れる上で住居や農地の準備などが必要になるが、進捗状況は。
A 活動される場所や品目は調整中ですが、4月募集、7月採用を目指して農地の準備を含め、受け入れ態勢や指導体制の調整をしています。

Q 令和6年度に実施した近江鉄道朝日大塚駅駐輪場整備について、さらに予算を費やして整備する理由は。
A 通学定期補助によって、朝日大塚駅まで自転車から来られる方が増加し、駐輪スペースが不足しているためです。

福祉教育子ども常任委員会分科会

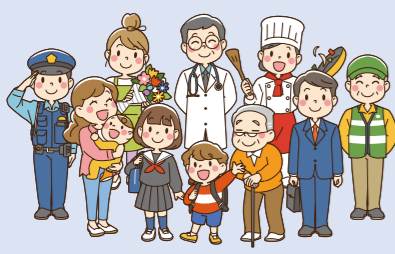
Q 博物館等管理運営事業について、博物館構想の推進に当たり、ガリ版伝承館など地域の博物館の運営支援は。
A 市内の博物館のうち、市による運営は3館で、ガリ版伝承館のように地域に運営を委託している施設もあります。博物館構想を推進するため、市直営の3つの博物館にそれぞれ機能を持たせ、それを生かすための予算を計上しており、ガリ版伝承館については全体の予算の中で対応します。

Q 社会福祉協議会活動推進補助金について、数年間同額であり、物価高騰分が反映できていないのではないか。
A 東近江市社会福祉協議会へは、活動推進補助金のほかに、事業の委託金や施設の指定管理料の予算を計上しており、新規事業分を含む委託料や指定管理料には物価高騰分を反映した予算としています。

Q 政策的医療交付金の増額理由は。
A 交付金の基本額は、普通交付税の需要額を元に算定しており、国からの交付税が増額となったためです。また、能登川病院について前年度の経常利益が減少したことや、蒲生医療センターにおいて予防医療として

無痛MRI乳がん検診の経費を見込んでいます。
Q 老朽化した学校プールの今後の維持・更新の方向性をどう考えているか。また、水泳の教育指導に対する市の考えは。
A 学校のプールの管理費は高額なため、中学校のプールについては大規模改修を進めず公共施設などを活用する方針で、小学校については一定の改修を進めていく予定です。また、水泳指導は命を守るためにも、今後もしっかりと実施していきたいと考えています。

Q 若者によるにぎわいの場活動支援業務の具体的な活動内容は。
A 他市が実施している先行事例などを参考に、高校生から大学生の年代が自由に集まり、勉強や交流ができる居心地のよい居場所を提供します。コーデイナーを配置することで、若者たちが主体的にいろいろな活動に関わってもらえるようになればと考えています。





東近江市民クラブ

大橋 保治



安心して子供を産み健やかに育てることができるとまちは

Q ①小学生の放課後保育ニーズへの対応と、子供たちの放課後の居場所づくりに向けた方針は。

②若者によるにぎわいの場の創出は。

A ①全ての小学校校区に公設民営の学童保育所を整備するだけでなく、保育ニーズの高い地域では、民間学童保育所の誘致や待機児童対策としての夏季休業期間限定学童保育所の開設をはじめ、新たにコミュニティセンターなどを活用した放課後の居場所づくりを進めるなど、その地域に即した児童の放課後の居場所の充実に取り組みます。

放課後児童対策については、保護者の子育てと仕事の両立を支援することは行政の役割であり、これまで、放課後に子供が安心して過ごせる環境づくりに取り組んできました。引き続き、



社会情勢や保育ニーズに即した対策に取り組むとともに、今後も、子供たちが健やかに、そしてたくましく育つことを目指します。②本市では、高校生や大学生年代の若者が安心して自由に過ごすことができる場所がないため、若者が主体性をもって活動できる居場所をつくることで、若者がまちに愛着を持ち、この地域を築いてくれる人材に育つことを期待しています。

支え合い健康長寿で暮らしやすいまち

Q 蒲生医療センターの機能強化が地域医療に与える影響と、今後の地域医療政策についての考えは。

A 東近江地域の主要な疾病の区域内完結率は9割近くですが、がんについては区域内完結率が56%と極端に低く、大きな課題でした。

この課題解決を目指し、蒲生医療センターにおいて、今の診療体制に加えて新たに手術室などの整備や高度な医療機器の導入によるがん治療の拠点整備に取り組んでいます。この機能強化により、市全体の医療水準のさらなる底上げを図ることができると考えています。

今後の地域医療政策は、地域医療連携推進法人東近江メディカルケアネットワークを中心に、医療機関との緊密な連携構築を進め、引き続き在宅医療から高度医療まで身近な医療機関での診療体制を充実させることにより、「地域で創る総合病院」の取り組みを深化させていきます。



現在建設中の蒲生医療センター

人や文化とつながり心豊かに過ごせるまち

Q 文化芸術振興拠点施設の基本構想の策定に当たり、拠点施設がどのような役割を果たすべきと考えているか、またその将来像は。

A 市の文化芸術振興拠点施設である八日市文化芸術会館は、昭和56年に滋賀県が設置し、平成18年に移管されました。開館から既に45年が経過し、施設や設備の老朽化が著しく、管理運

快適な生活環境が整った安全・安心なまち

Q 豊かな自然を未来につなげるため、鈴鹿山脈から琵琶湖に至る大規模な調査研究を大学や研究機関と行う考えは。

A 鈴鹿山脈を源流とする愛知川とその豊富な伏流水は、良質な近江米を作り、飲料水や工業用水として地域の生活と産業を支えてきました。

近年、気候変動の影響により源流部で土砂崩れが発生しやすくなり、降雨時には濁水が永源寺ダムへ流入しています。

その結果、ダム湖内の堆積土砂の増加や河川の濁りの長期化が続き、農業、水道、工業用水として利用している地下水についても、将来的にその量と質を安定的に確保できるか懸念されます。

そのためには、愛知川水系の状況を把握することが不可欠であり、大学や研究機関などと連携し、調査・研究を進める考えです。



活力と多様性のある農業水産の発展

Q 東近江地区国営農地再編整備事業への市長の思いは。

A この事業は、八日市地区の16集落にまたがる農地において、水田の大区画化、農道や用排水施設の整備、スマート農業機械などの導入によって、農作業の効率化や集落営農法人などの担い手確保を図るものであり、本州では他に例を見ない大規模で実施する県内初の国直轄による



自動運転する田植え機

地域の魅力や産業の活力があふれるまち

Q 近江鉄道八日市駅東西連絡通路整備後の中心市街地の夢のある姿は。

A 八日市駅周辺の中心市街地は、かつてにぎわっていた頃とは程遠い現状であったことから、中心市街地の活性化に取り組んできました。

延命新地は、人通りが少なく道路状況も悪く寂しい路地でしたが、修景補助や道路美装化工事を実施し、人が集いにぎわう場所になりました。

東西連絡通路の整備が完了すれば、開放的な連絡通路から隣接する延命公園の豊かな緑へ吸い込まれるような景観を眺め、

ほ場整備事業です。

本市は近畿最大の耕地面積を有しながらも、農業産出額は近畿8位であることから、本事業の実施によって効率的な農業生産、力強い農業構造の確立を目指し、米、麦、大豆に加え、野菜などの高収益作物の生産拡大を図ります。

近江鉄道の電車を見ながらゆったりと散歩をする親子、西側の街並みにも変化が見られ、東側では駅前のえいとテラスでカフェを楽しむ学生たち、時には盛大にイベントが開催され多くの人が集まり笑顔があふれる様子は、活力のあるまちの姿であり、これまで通り過ぎていた場所から行きたくなる場所へと変わり、活気ある中心市街地の姿を思い描いています。



都市基盤が整った
快適なまち

Q ①JR琵琶湖線の利用促進につながる能登川駅東口の道路整備は。
②新幹線新駅を市内に設置する考えは。

A ①JR琵琶湖線の利用促進のためにも、JR能登川駅周辺の整備は引き続き必要です。JR能登川駅の正面玄関は東口と認識していますが、十分な整備ができておらず、計画的に整備を進める考えです。
②新幹線新駅の設置については、新駅設置検討調査を実施し、その可能性を探ってきました。本市のみならず、滋賀県の飛躍的な発展のためには米原京都間の中央部に新駅の設置は絶対に必要であると考えています。

今後は、リニア中央新幹線の整備による東海道新幹線の役割の変化や北陸新幹線のルート決定の動向を踏まえ、新駅設置の機会を逃すことのないよう、状況を注視していきます。

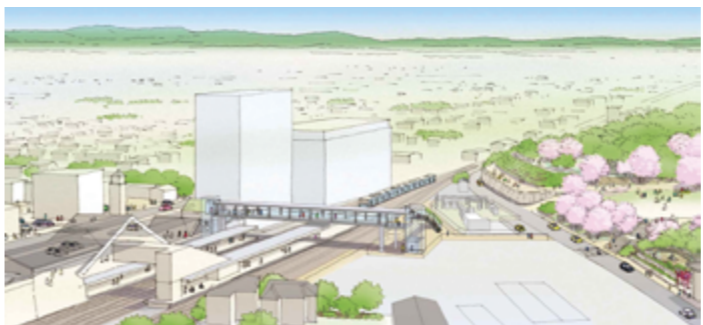


日本共産党議員団

暮らし、福祉、教育
最優先へ

Q 市長は「市民が安全で質の高い暮らしを享受できる、強く豊かで、そしてやさしい東近江市の創生に向けて予算を編成した」としているが、市民生活や福祉・教育に冷たく、大企業優遇、公共事業最優先の市政と言わざるを得ない。

A ①小中学校体育館へのエアコン設置を早急にすべきでは。
②保育・幼児施設と中学校の給食費無償化についての考えは。
③森の文化博物館基本計画を見直すべきでは。
④大企業への企業立地や雇用促進奨励金はやめるべきでは。
⑤近江鉄道八日市駅東西連絡通路計画などは見直すべきでは。
A ①計画的に全校での設置を目指したいと考えています。
②給食賄材料費は保護者負担を基本とし、一般財源を充てた無償化は考えていません。



近江鉄道八日市駅東西連絡通路基本構想より

田郷 正



③「森の文化推進条例」が可決されており、計画を見直すべき理由はありません。
④企業誘致や設備投資には重要な要素であり、地域経済活性化と財源確保による市民福祉の向上に取り組んでいきます。
⑤中心市街地活性化には必要不可欠な事業であり予定通り進めます。

新年度予算および
主要事業について

Q 一般会計当初予算額が過去最大の55.6億円となった要因と長期的な財政の見直しに対する市長の見解は。

A 当初予算額が過去最大となったのは、長引く物価高騰への対策をはじめ、人件費や物件費の増加や扶助費などの社会保障経費が増加したことによるものです。さらに、令和8年度は新たな総合計画のスタートとして、主要施策の着実な実施と子育て・福祉・教育施設の整備とともに、10年、20年先を見据えたまちづくりに向けた布石となる事業の構想などにも着手することが要因です。

一方で、予算編成に当たっては、基金の取崩額を抑制するなど、財政の健全性と施策の推進の両立を図る予算としています。今後の財政運営の考えについては、合併から20年という節目を



太陽クラブ

戸嶋 幸司



経て、持続可能な市政運営を推進するためにも、今後より健全で強固な財政基盤を確立していきます。

今後も物価上昇などによる予算規模の拡大は避けられないものの、事業の選択と集中により、本市のさらなる発展を目指します。さらに、市民が真に豊かさを実感できる施策を実施していくためには、その基盤となる財源の安定確保が不可欠であり、積極的な企業誘致と地域経済の活性化により市税収入を確保し、人口減少社会においても揺るぎない、強く豊かで持続可能なまちづくりを進めていきます。

Q 本市の中心部として整備が続いている近江鉄道八日市駅周辺だが、
①これまでの取り組みの振り返りや新年度の事業への意気込み、
②描く未来の姿についての市長の見解は。

②八日市駅東西連絡通路の概算事業費および財源の内訳は。
A ①市長就任当時の八日市駅周辺は、にぎわいのあるまちには程遠い状態であり、かつてのにぎわいをよみがえらせたいとの強い決意のもと、自ら先頭に立ち、ホテル誘致に始まり、延命新地の道路の美装化や駐車場の整備に取り組み、観光案内や商工会議所が入るマンションの完成など、にぎわいが少しずつ感じられるようになりました。
本市の中心市街地は、まだまだ飛躍できる大きな可能性があると考えており、新年度には、延命公園の再整備と八日市駅の東西連絡通路整備の設計を連動させ、駅を核としたまちの一体化によるさらなる魅力向上を目指し、これからも中心市街地の活性化に向け、精力的に事業を推進していきます。
②概算事業費は10億円で、内訳として社会資本整備総合交付金5億円、地方債3・7億円、一般財源1・3億円を計画しています。

Q 森の文化の魅力発信について



活用予定の木地師やまの子の家

て、奥永源寺にある「木地師やまの子の家」が森の博物館になるという認識で間違いはないか。
A 「自然・歴史文化などの地域資源が分布している区域一帯を博物館とする」と基本計画にも明記しており、やまの子の家が博物館ではありません。非常に広いエリアの情報を各所で発信していくに当たり、観察会の拠点や調査研究を行う場所として木地師やまの子の家を既存施設として活用しようとするものです。

太陽クラブ

安田 高玄



Q 滋賀県教育委員会は、昨年本県で開催された国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会や大阪・関西万博へ子どもたちが行くため、平日に学校を休んでも欠席扱いとしない制度（上限3日間）を令和8年度以降も継続するとし、生徒が各自でテーマを持って学ぶ「総合学習」に関連し、平日に行う必要性がある学校外での活動を対象とした。県内各市町の教育委員会にも導入を呼び掛けるとしているが、本市に導入する考えや思いは。

A 今年度は「大阪・関西万博」や「国スポ・障スポ」が開催されたことから、本市においても県が設けた「滋賀・体験の日」に準じた取り組みをその期間に限定して行いました。学校外での体験活動については、これまででも文部科学省からの通知で、部活動や地域クラブなどの大会や発表会、国際交流、国家的行事など質の高い教育内容に係るものは欠席扱いとしないことを推奨しており、今後の体験活動についても同様に校長が個別に判断し対応していきます。

太陽クラブ

松本 喜美



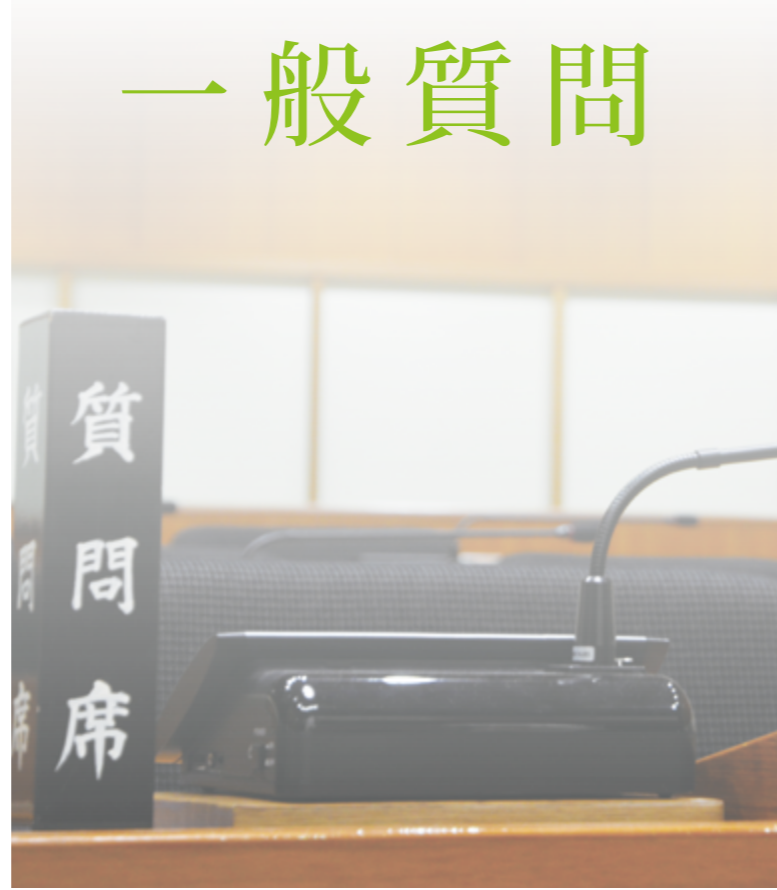
Q 直近3年間における不登校児童生徒数の推移は。

A 小学校の不登校者数は令和4年度121名、5年度122名、6年度135名、中学校は令和4年度189名、5年度171名、6年度207名です。

Q 校内教育支援センターおよび民間施設利用支援制度について、利用状況の推移と効果は。

A 校内教育支援センターの利用状況の推移については、令和6年度は小学校9校で月平均43名、中学校7校で月平均40名の利用があり、7年度は小学校の15校で月平均58名、中学校9校で月平均42名の利用がありました。効果としては教室に入らず不登校になっていた児童生徒がセンターの利用によって登校できるようになり、自分のペースで学習に取り組んだり、支援員とコミュニケーションを図ったりできるようになっています。

民間施設利用支援制度の利用状況は、令和6年度14名、7年度は2学期末で19名です。効果としては、心理面や精神的に支援が必要な子供たちの自己肯定感の回復につながったことや社会性・対人関係、学習の遅れの改善などが挙げられます。



一般質問

日本共産党議員団

山中 一志



Q 市街地の整備改善事業について、

①事業費および進捗は。

②成果と課題は。

A ①八日市駅前市有地活用事業の駅前広場整備と拠点施設整備は合わせて2億6,470万円、延命新地地区街なみ環境整備事業は2億230万円、まちなか公園活用事業は1,130万円、時間貸駐車場運営事業の事業費は発生していません。ウォークアブル推進事業は民間企業が主体となり実施しており、12事業中6事業が実施済みです。東西連絡通路整備事業、駐車場促進事業、都市公園整備事業、延命公園整備事業、都市計画道路整備事業、スマートパーキング導入事業は実施中で未実施事業はありません。

②3つの目標を掲げており、目標達成率は、中心市街地の人口が102%（141人増）、歩行者・自転車通行量が93.2%、駅周辺の営業店舗・事業所数が102%（5店舗増）です。少しずつ成果が出ていますと判断していますが、さらに継続的な整備が必要で、駅周辺の利便性向上と回遊性を高め、中心市街地のにぎわい創出につなげていくことが今後の課題と考えています。



万葉の森 船岡山のレリーフ

Q 歴史文化遺産である万葉故地について、

①本市の万葉故地はどのような史跡を指すのか。

②本市での全国万葉故地サミット開催時期は。

③サミット開催に向け機運醸成をどのように図るか。

A ①大海人皇子と額田王の相聞歌の舞台となった蒲生野を見

Q 市内農産物の特産品化に対する考えは。

A 農家の所得向上と地域活性化のために農産物の特産品化は有益であり、強化拡大をしていく必要があると考えています。「びわこオニオン」と称するタマネギの生産拡大や新たなゴマの栽培など特産品化に取り組んでいます。引き続き次年度においても強化していきます。

Q 農業振興について

渡す事ができる船岡山山頂を市の史跡に指定しており、二人が詠んだ歌が大岩に刻まれています。蒲生地区では万葉歌人の山部赤人ゆかりの赤人寺や山部神社も万葉故地です。

②令和16年の予定です。

③万葉短歌会をはじめとする万葉文化活動を支援していきます。今後、関係機関・関係部署と協力しながら機運醸成に努めます。

万葉会



万葉会

中村 和広



安心して子供を産み育てることができるまち

Q 母子手帳アプリ「ららぽっけ」導入について、

- ①子育ての負担軽減は。
- ②保護者のメリットは。
- ③本市のメリットは。
- ④セキュリティ対策は。

A ①妊婦健診の記録を自分で入力することで管理、確認が可能となり、予防接種のスケジュールにおいても、子供の生年月日と接種日を入力することで事前に接種時期が表示され、保護者の負担が大幅に軽減されます。

②年齢などに応じた情報をタイムリーに受け取ることができ、また、事前にアンケートなどを入力いただくことで、保健師が事前に内容を確認でき、保護者と



向き合える時間が増えます。

③必要な情報を保護者に直接、迅速に届けることができます。また、デジタル化による統計分析が可能となり、より地域の実情に即した子育て施策および事務の効率化にもつながると考えます。

④母子保健という極めて重要な個人情報を取り扱うことから、市民の不安を払拭するため、国が示す高いセキュリティ基準に基づきクラウドシステムのアプリを導入しています。

公明党



公明党

吉坂 豊





Q 本市と東近江市商工会との連携について、
①定期的に協議の場を設けているのか。
②具体的にどのような連携をしているのか。
A ①行政懇談会などで定期的に意見交換を行っています。
②商工会とは多様な機会を通じて連携を図り、課題の共有や政策の立案を行っています。一例として、新たに令和8年度から予算計上している新規開業応援補助金があります。
Q ふるさと寄附と地場産業の振興について、
①令和8年度の寄附目標額は。
②新たな返礼品の開発支援や体験型・観光連携型のメニュー拡充などの検討状況は。
A ①13億円を目指しています。
②市内事業者に対し、寄附者の増加に向けた勉強会を開催しているほか、定期的に事業者を訪問し、返礼品の拡充に取り組んでいます。また、本市の魅力である森里川湖を舞台とした体験型・観光連携型の返礼品も併せて検討しているところです。



Q 農地貸借に係る法改正について、
①農地貸借を農地中間管理機構（農地バンク）へ一本化することによる現場での具体的なメリットは。
②施設野菜を志す者にとっては、農地の上にある施設によって手続きに制限があり、問題がある。ハウスなどの施設もスムーズに継承できるよう、市がサポートする必要があると考えるが、見解は。
A ①賃借料のやり取りを農地中間管理機構がまとめて行うため、農家の事務負担が軽減されることや土地所有者に相続が発生した場合、農地の貸借契約がそのまま引き継がれるため、改めて契約を結び直す必要がないといったメリットがあります。
②現在、県の運用では、農地中間管理機構が行う所有権移転は、ハウスなどが建設されている土地は対象外としており、施設農家の事業継承の支障になっていると認識しています。市も県に対し、既に問題を指摘していますが、スムーズな事業継承を図るため、施設用地も農地中間管理機構の業務対象となるよう引き続き働き掛けます。



Q 優良農地を守り、後継者を育て、もうかる農業への転換に必要な対策として、
①スマート農業への取り組み状況と課題は。
②今後の農業を大きく発展させるスマート農業に対する期待は。
A ①スマート農機の導入を支援する補助事業を実施するとともに、今後生産拡大を推進するタマネギ栽培におけるスマート化や可変施肥の実証を行いました。また、ひがしおうみ晴耕塾の県外先進地視察において最新情報を提供しました。課題については、機械などの導入や維持に要するコストが高いこと、専門人材の不足が挙げられます。このため、国の事業を活用するとともに、市単独事業でも集落営農組織のオペレーター育成を支援しています。
②農業従事者が減少する中で、スマート農業導入によって効率的で生産性の高い農業が可能となるため、若者や女性の農業参加が期待できます。これは、農業の成長産業化につながり、食料安全保障にも貢献できるものと考えています。



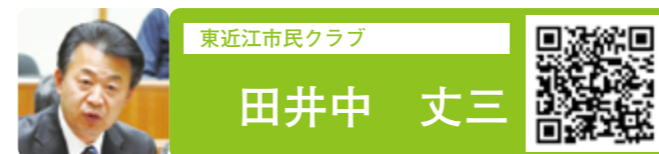
Q 回送で走行している近江バスおよびちよこっとバスを、実証的に営業化する可能性について、事業者や関係機関と協議を行う考えはあるか。
A 路線バスの運行については、機会を捉えて提案していきます。ちよこっとバスについては、実証実験の可能性について協議を行っていきます。
Q 本市と自治会のごみ収集ルールについて、
①ごみ集積所の管理責任はどこにあるのか。
②自治会未加入者による集積所利用の制限などの実態について把握しているか。
③今後、自治会の加入の有無にかかわらず、市民が安心して暮らせる仕組みをどのように整えるのか。
A ①設置と維持管理は自治会が担っており、管理責任は自治会となります。
②市としては把握する必要はないと考えています。
③ごみ集積所の利用について、当事者間の対話を重ねていただくよう、関係部局と連携して必要な助言を行っていきます。



Q 国は少子高齢化による人手不足解消のため、制度を変えながらも外国人労働者を受け入れてきた。本市の外国人人口も5,200人を超え、行政の窓口や教育現場、居住地において表面化してきた様々な課題について、
①幼児施設や小中学校などでの対策と支援の内容は。
②自治会に対して、外国人の暮らしや住民との交流や共生を促進する支援はあるか。
A ①幼児課や公立認定こども園などに5人の日本語指導員を配置しています。その他の職員は自動翻訳機を活用しています。小学校には御園小学校と八日市北小学校に日本語初期指導教室「いろは」を設置するほか、日本語指導員の加配や通訳の母語支援員を配置しています。また、国際交流協会に委託して、日本語教室や外国人児童生徒支援事業をはじめ、国際交流サロンや多文化共生イベントの開催などさまざまな事業を実施しています。
②ごみカレンダーはポルトガル語版に加え、令和8年度は一部ベトナム語版を作成します。防災マップは数力国語を用意しています。引き続き現状を見ながら必要な支援があれば考えていきます。



Q 近江鉄道線ICOCA導入と利用者サービスの向上について、
①シルバーパスは従来どおり継続利用できるか。
②1日乗車券ワンデスマイルチケットの料金改定の背景と考え方は。
A ①シルバーパスは引き続き利用できるかと聞いています。
②今回のICOCA導入を機に、近江鉄道(株)では各種乗車券の販売方法を含めた見直しが行われました。他の民間鉄道と比較検討した結果、これまで金・土・日・祝に利用が限定されていましたが、毎日利用できるようになり900円から1,500円に料金改定されました。
Q みどりまちテラスのコンセプトは。また、どのような活用方法を想定し整備したのか。
A 「みんなが憩い、集う、まちのオアシス」をコンセプトに、市民の日常的な憩いの場として芝生広場を整備するとともに、公園利用者や周辺事業所の方々がカフェやランチを楽しめるよう飲食施設を併設しました。



Q 近年、「食料安全保障」という言葉が多く聞かれるようになった一方で、我が国の食糧は輸入に頼っているのが現状である。食料自給率の改善は農業農村地域の環境改善にもつながるため、地域計画の推進を通じ、農業の進展や食料増産を期待するが、
①地域計画の進捗状況と計画に対する支援は。
②課題のある農業組合などに対し、地域計画のブラッシュアップを求め、後押しする必要性への見解は。
A ①過去2カ年で、地域計画をもとに5地区において70haの集積と169haの集約が実現しました。支援には、国による機構集積協力金事業があり、活用により地域計画の実現を推進しています。
②地域計画は策定するだけでなく、ブラッシュアップを続ける必要があります。既に52地区において計画を更新し、地域計画の早期実現に努めています。
Q 地域の農業経営の新たな脅威となる鳥獣被害の現状と対策は。
A 渡り鳥オオバンについては、麦の新芽を食す被害を確認したため、県知事から捕獲許可を得て市内猟友会に委託し、被害の拡大防止に努めています。



Q 誰もが安心して暮らし続けられる東近江市の実現について、
①就労支援事業利用者が就労後に利用できる居場所の現状を把握しているのか。
②固定資産税が生活を圧迫している障がいのある高齢者世帯の実態を把握しているのか。また、減免制度や徴収猶予制度の周知は十分に行われているのか。
A ①基本的に障害福祉サービスによる就労後は個人の時間であることから把握していませんが、夕方の時間帯を過ごす居場所づくりや見守り支援の必要性は、制度上の課題として認識しています。国に対して夕方の時間帯を過ごす支援制度の創設などを要望したいと考えています。
②固定資産税は所得や障害の有無など個々の世帯の実態とは関係なく、所有する資産の価値に応じて負担するものであり、個々の世帯の実態は把握していません。生活保護受給者に対する減免制度や生活困窮者に対する徴収猶予制度については、市ホームページで周知を図っています。また、窓口での納付相談においても生活状況を伺い、該当する制度があれば案内しています。

22人に聞きました 最近ハマっていることは？



松本 喜美

太陽クラブ
ラーメン食べ歩きです。
おススメのラーメン屋を
教えてください！



奥村 忠彦

東近江市民クラブ
バイクで風を感じながら、
新たな景色を求めて旅を
するツーリング。



山下 敦司

公明党
「マグネット収集」博物館
や美術館、旅先で記念
に購入しています。



澤居 寛明

東近江市民クラブ
妻と交代でこどもの弁当
作り。玉子焼きの隠し味
をためています。



森 鉄兵

東近江市民クラブ
一周まわってウェス・モ
ンゴメリー。まだまだ知
らない名演がいっぱい。



中村 和広

万葉会
射撃です。県のクレール射
撃大会にも東近江代表と
して出場中です。



小梶 昌巳

無党派
0円で世界旅行 (YouTube)
行ったつもり満喫中 (^^)



山本 直彦

東近江市民クラブ
湯船につかりながら酒を
飲む。



青山 孝司

東近江市民クラブ
孫のハイハイ歩きを追い
かけて抱っこすること
です。



鈴木 則彦

東近江市民クラブ
ライフワークとして東近
江の自然観察、今さらで
すが黒ビール。



西村 和恭

東近江市民クラブ
最近よく映るスマイルネ
ットの自分探し。ちっ
ちやいなあー。



田井中 丈三

東近江市民クラブ
はまっちはいませんが、
地元の河原祭りの復活に
は期待しています。



吉坂 豊

公明党
阪神連覇へ！勝利をつか
め！行くぞ甲子園！しか
しチケットが…



戸嶋 幸司

太陽クラブ
様々な国の言語表現につ
いて話し合うSNS動画
をついつい観ちゃう。



西崎 彰

東近江市民クラブ
「プランク」お腹周りを絞
ると体幹を鍛えるため朝
タ2回やっています。裸に
ジャケット着るのが目標。



安田 高玄

太陽クラブ
JR時刻表にて全国を
「机上の旅」に出ています。



西澤 由男

東近江市民クラブ
戦後GHQが禁書処分した
復刻版書籍の収集と
真実の歴史探求。



市木 徹

東近江市民クラブ
WBCを見るために契約
したので解約期限まで
Netflixで毎日映画を
観ています。



山中 一志

日本共産党議員団
暖かくなってきました。
移動は、季節を先取りで
きるバイクです。



大橋 保治

東近江市民クラブ
今年もSEA TO SUMMIT
に自転車出場するため、
準備と練習に勤しんで
います。



田郷 正

日本共産党議員団
「ばけげけ」主題歌「日に
日に世界が悪くなる 気
のせいかな そうじゃない」



東近江市民クラブ

西崎 彰



上下水道や道路、トンネルなど、日常生活や物流、人流を支える公共インフラの維持管理や長寿命化対策について、インフラ整備予算の確保は国の責任であり、国に予算要望をしたいと考えるが、市長の見解は。

公共のインフラ整備は、市民の安全・安心な暮らしを次世代へと引き継ぐ重要施策の一つであると認識しています。

財源確保にはこれまでも自ら先頭に立ち、関係省庁に足を運んで本市の状況や対策の必要性を直接訴え、国庫補助金などの確実な獲得に向けて強い使命感を持って取り組んできました。また、機会あるごとに、地方の実情に即した十分な予算枠の確保を強く働き掛けてきました。市議会の皆様には多方面にわたって本市の実情を訴え御尽力いただいていることに厚く御礼申し上げます。今後も市政発展のため、議会と行政が車の両輪のごとく一体となり、予算確保に向けて、より一層強力で要望活動を展開していきます。



公明党

山下 敦司



災害応急対策における備蓄および体制について、
①間仕切り・簡易ベッドの備蓄は。
②食料・飲料水の備蓄は。
③仮設トイレ・簡易トイレの備蓄、整備は。
④その他資機材などの備蓄は。
⑤災害時の口腔衛生は。

①間仕切り・パーティション1,312基、簡易ベッド202台です。要配慮者も含めて被害想定に基づき計画的に整備を進めています。
②レトルトご飯やおかゆ約2万食、飲料水は500mlペットボトル換算で約8千本分です。災害従事者を含めた対象人数の1日分の確保を進めています。
③携帯トイレ10万2,200個、簡易トイレ153台、仮設トイレ65台、マンホールトイレ55基です。要配慮者用に自動ラップ式トイレ62台、車いす対応型トイレ54台を市の倉庫に保管しています。
④毛布1万4,040枚、発電機20台、投光器31台です。要配慮者や女性への配慮が必要な紙おむつ、生理用品、液体ミルクなどを備蓄しています。
⑤湖東歯科医師会との災害時における応援協定に基づき歯科医師などを派遣していただきます。



東近江市民クラブ

山本 直彦



愛東地区の県道整備について、
①県道百済寺甲上岸本線の池之尻町から上中野町間の整備は。

②県道外八日市線の上岸本町から神田町間の歩道整備は。

①国道307号池之尻交差点から名神高速道路高架下手前までの整備は一定完了しています。残る区間は、中央線のない道路であり、特に上中野町付近は民家が道路に近接し、狭隘な道路であると認識していますが、名神高速道路高架下の道路拡幅の課題などがあり、当該区間の改良は非常に困難であると考えています。そのため、地域の安全のために観光客や大型車の迂回を促すなど、安全対策強化を道路管理者である県に要望していきます。

②自転車の通行はありますが、歩行者は少ないことから、現時点では歩道整備の必要性は低いと考えています。しかし、路肩が狭く大型車が頻繁に通行することから、御河辺橋の架け替えを含む県道雨降野今在家八日市線の整備に合わせて、自転車などが安全に通行できるよう、路肩の拡幅を県に要望していきます。



東近江市民クラブ

澤居 寛明



自治会の負担軽減につながるDX化について、
①市への提出書類の電子化の状況は。
②会議のオンライン化導入の検討状況は。

①押印が不要な書類は、メールなどで受け付けています。今後も提出書類の電子化を検討するなど、負担軽減に努めます。

②会議のオンライン化は、自治会長同士のつながりを作る上で、対話による顔の見える関係性を構築することが重要であるため導入は考えていません。

希望する園への就園は共働き世帯にとって重要な観点である。湖東ひばり幼稚園の状況について、
①同園を第一希望としたが、入園選考により第二希望以降の他園に就園した人数は。

②入園がかなわず就労を諦めた件数は。

③施設改修により増加する受入れ人数は。

①令和5年度9人、6年度6人、7年度14人です。

②入所不承諾通知書発送後の保護者の就労状況に関する調査は行っておらず、把握していません。

③1歳児と2歳児合わせて10名の定員を拡大する計画です。

令和8年3月定例会 議案の審議結果

○・・・賛成 ×・・・反対 (議長は採決に加わらない)

議案等の名称	会派名	東近江市民クラブ										太陽クラブ		日本共産党		公明党		万葉会		会派無				
		賛成・反対	奥村忠彦	澤居寛明	森鉄兵	山本直彦	青山孝司	鈴木則彦	西村和恭	田井中文三	西崎彰	西澤由男	市木徹	大橋保治	松本喜美	戸嶋幸司	安田高玄	山中一志	田郷正		山下敦司	吉坂豊	西川清里	中村和広
議案第6号 令和8年度東近江市一般会計予算	可決	17 4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	○
議案第7号 令和8年度東近江市国民健康保険(事業勘定)特別会計予算	可決	19 2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
議案第9号 令和8年度東近江市後期高齢者医療特別会計予算	可決	19 2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
議案第10号 令和8年度東近江市介護保険特別会計予算	可決	19 2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
議案第12号 令和8年度東近江市産業用地開発事業特別会計予算	可決	19 2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
議案第15号 令和8年度東近江市病院事業会計予算	可決	19 2	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
議案第21号 東近江市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決	19 2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
議案第22号 東近江市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	可決	19 2	○	○	○	○	○	○	長	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
議案第23号 東近江市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	可決	19 2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
議案第24号 東近江市立認定こども園条例の一部を改正する条例の制定について	可決	19 2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
意見書案第1号 非核三原則の堅持を求める意見書	否決	9 11	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	棄権
請願第1号 物価上昇に見合う年金引き上げを求める請願	不採	4 17	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	×	

その他の議案は全会一致で可決・承認および同意されました。「詳細は「東近江市議会」のホームページで検索してください。

6月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
5/24	25	26	27	28	29 開会	30
31	6/1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11 一般質問	12 一般質問	13
14	15 一般質問	16 総務常任委員会	17 福祉教育こども常任委員会	18 産業建設常任委員会	19	20
21	22	23 予算決算委員会	24	25 閉会	26	27

※各日とも午前9時30分から開始します。
※日程および時間は、変更になる場合があります。

議会の傍聴

東近江市議会では、皆さまの傍聴をお待ちしています。
ご希望の方は、傍聴される当日に市役所本館3階の議会事務局窓口までお越しください。

テレビ中継

本会議の中継は、東近江スマイルネットのコミュニティチャンネルでご覧いただけます。

インターネット中継

東近江市議会では、本会議の模様をインターネットでライブ配信(生中継)・録画配信しています。
スマートフォン・タブレット端末でもご覧いただけます。

議会だよりの発行

東近江市議会だよりは、2月、5月、8月、11月に発行しています。

東近江市議会だよりに



編集後記

5月2日、澄み切った青空の下、11年ぶりとなる100畳敷東近江大風の飛揚が行われました。飛揚時間こそわずかだったものの、会場にいた多くの方々が伝統文化の復活に大きな拍手を送っておられました。

2015年に起きた悲しい事故。過去の事実と向き合い、模索し続けたからこそ、11年という年月を経て歴史が再び歩み始めた、そんな瞬間だったように感じます。今回の再開を経て、さらに向き合い模索していく先にこそ、新たな東近江大風の歴史・伝統が作られていくのだと信じております。

関係者の皆様、本当にありがとうございました。

++++++
今回の表紙は4月末に開催されたびわこジャズ東近江より、市内在住のカメラマン能登健さんからご提供いただきました。素敵な一枚をありがとうございます。

戸嶋 幸司

もっと身近に「議会だよりを



市ホームページの他にも、無料アプリ「マチイロ」で「議会だよりを」を配信しています。市の広報紙や行政情報もご覧になれますので、ぜひご利用ください。

